

# 5月の園だより

令和7年4月28日

杉並区立西荻北子供園

園長 須田 なぎさ



## 「こいのぼり」づくりで経験していること

園長 須田なぎさ

新緑がまぶしい季節となりました。期待と不安が入り混じった様子だった子どもたちも新しい生活に少しづつ慣れて、笑顔が増えてきました。

4月19日に、4歳児くま組とぞう組5歳児の「親子で遊ぼう」と保護者会を行いました。

「親子で遊ぼう」では、各学年親子で楽しめるゲームを行いました。アンケートには、「家で見るのとは違う面での成長を確認することができ、非常に良い時間となりました。」「子供園での楽しい様子を知ることができ嬉しかったです。」「長時間の方と中々話せる機会がないので交流できて楽しかったです。」など、温かいご意見をいただきありがとうございました。5月10日は、3歳児うさぎ組の「親子で遊ぼう」です。楽しみにしていてください。

さて、子供園の生活は、子どもたちが自分で「やりたい」と思った遊びを大切に、保育をしています。幼稚園教育要領には、幼児期に育みたい資質・能力として、「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力の基礎」「学びに向かう力、人間性」の3つの柱が示されています。この3つの柱に向かう育ちは、「やりたい」と思った遊びの中での総合的な指導を通して積み上げていきます。そのために、保育者は意図的・計画的に、環境を整えています。

今回は、子どもたちの無事な成長を願うこと、日本の伝統文化を身近に感じること等を目的に、端午の節句にちなんで行っている「こいのぼり作り」を通して、どんな経験を積み上げているのかをお伝えしていきます。



5歳児のグループで作ったこいのぼり

まず、先生たちは、園にある大きなこいのぼりを挙げて、歌を歌ったり、関連する紙芝居や絵本を読んだりします。すると、5歳児は、「年長になったから、大きなこいのぼりがつくりたい!」という意欲をもったようです。

そこで、5歳児ぞう組は、2人組で話し合って、大きなこいのぼりを作ることにしました。体の色、つける模様の形、模様の色などを2人で話し合います。話し合いが順調に進むグループもあれば、思いを譲りあえずに保育者が助けに入るグループもあります。

一人ひとりが思いを出す話し合いの中で、意見の違いへの気付き、話し合いの仕方、決まったことを受け入れて自分の力出していく姿勢を学んでいます。出来上がった「こいのぼり」が、園庭に泳いでいます。自分たちで考えた「こいのぼり」です。どこを頑張ったのかを、ぜひ子どもたちに聞いてみてください。

ぞう組が友達と意見を出し合って作った大きなこいのぼりをみて、4歳児3歳児も「こいのぼり」に興味を示し始めます。そのタイミングをみて、先生たちは、材料を出して製作できるコーナーを用意します。

4歳児はこいのぼりの形の紙に、半丸や三角の色紙をのりで貼って模様を構成しています。のりの使い方を学びながら、半丸や三角を構成していくことで、自分なりの表現を楽しんでいます。クレパスでも、自由に模様をかきました。自分で作ったこいのぼりを手にして園庭で走り回る姿は、「できた!」という思いでいっぱいです。この「できた」という喜びは、この後の活動への意欲につながっていきます。

3歳児は保育者が用意した「こいのぼり」の形をした紙にシールを貼っていきます。小さな指でシールをはがし、こいのぼりに模様をつけていくのですが、シールをはがしてつける技術、好きな色を選んでつける等、自分なりの表現を楽しんでいました。シールを付けたら先生が仕上げてくれるので、すぐに手にして遊びだします。

3,4歳児は、「やりたい」と思ったときに、いつでも簡単に取り組める内容なので、どのお子さんも、いくつも作りたくなります。繰り返し楽しんでいく姿は、学びに向かう力につながっていきます。

これからも子供園では様々な取り組みを行う中で、3つの柱をバランスよく育てていきながら、子どもたちが、何を楽しみ、どのような学びを積み上げているのかを、保護者の皆様と共に共有し、成長を喜び合っていきたいと思います。本園の教育にご理解、ご協力をいただけますようお願いいたします。



4歳児の作ったこいのぼり



3歳児が作ったこいのぼり